

国指定重要文化財（彫刻）

木造五大明王像（常福寺）

古郡にある常福寺には、県内に残る代表的な五大明王像として注目される明王像群が本尊として安置されています。いずれもカヤ材の一木造で彩色されています。

明王とは、密教から生まれた仏で、大日如来の化身のひとつです。仏の教えに従わない者をこらしめる役割をはたしているとき、髪を逆立て、怒りを表す分怒相（怒り顔）などが特徴です。

明王の中でも中心的な五体を組み合わせた像を「五大明王」と言います。不動明王を中心として、東には「欲・怒り・愚かさ」の三つの世界を降伏させた降三世明王、南には煩惱を打ち砕く軍荼利明王、西には世間に蔓延する悪を取り締まる大威徳明王、北には悪を打ち砕く金剛夜叉明王が配置されています。不動明王は威厳に満ちた堂々たる像で、降三世明王等の諸像も瘦身ながら躍動感にあふれ、その姿は京都醍醐寺の五大明王像を思わせます。この群像の造立年代は、十一世紀前半頃と推察されています。

これらの像には古い要素と、新しい要素が見られ、過渡的な作風を示す例と考えられます。



▲常福寺 木造五大明王像

☎ 22・9678 FAX 22・9667

文化財課

なお、常福寺の五大明王像は令和3年1月に御開帳が予定されています。

この群像は五大明王の貴重な作例として、国の重要文化財に指定されています。

たとえば、不動明王の頭髪は総髪で左側におさげを垂らしています。これは古い様式の特徴です。一方、新しい様式の特徴として、像全体の奥行きが浅く、穏やかさが目につくこと、不動明王の目については、この時代は両目を大きく見開いているのが一般的であるのに対し、右目は天を向き、左目は地を向く天地眼をしていることが挙げられます。常福寺の不動明王の天地眼は、比較的早く取り入れられた例として注目されています。

明日に向かって ~差別をなくしていくために~

人権について考えるコラムです。

相手の立場に立って考える -伊賀市消防本部-

私たち消防隊員は、救急車で医療機関へ搬送される人に寄り添い、相手の気持ちを感じとり、最良の対応をとることをいつも心がけています。特に大事にしていることは「知る」ことです。そのためには、まず本人や家族、周囲の人に、「救急車を呼ぶ前は何かをしていたのか」「今、本人は何の症状を一番訴えているのか」などを詳しく聞き取ります。これは、「知る」ことが救急処置や医療機関の選定に欠かせないからです。患者さんが元の生活に戻るために、「知る」ことはとても重要です。

このことは、日常の対人関係でも同じことが言えると思います。例えば、「気が強く見える人が、実は打たれ弱い」ということはありませんか。人には、「見えやすい性質」と「見えにくい性質」があり、相手の考え、性格、経験などを「知る」ことで、「見えにくい性質」の部分も含めてより深く相手のこと

を理解し、相手の立場に立って考えることができるようになります。

最近、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染者や医療従事者など特定の人への差別やいじめが深刻化しています。新型コロナウイルス感染症を正しく「知る」ことができていない人が、見えない恐怖に怯え、誤った情報に基づいた心無い言動をしてしまうために多くの人が傷ついています。悪いのはコロナウイルスのはずなのに、なぜか人間同士が疑い合い、差別が起こっているのです。

コロナ禍で不安と制限された生活が続いていますが、今こそ正しく「知る」ことで、相手の気持ちや立場を理解し、思いやりの気持ちを持ちましょう。感染者や最前線で頑張っている人たちにかかる言葉は、誹謗や中傷ではありません。みんなで「エール」を送りましょう。

■ご意見などは人権政策課 ☎ 22-9683 FAX 22-9684 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ



芭蕉翁記念館だより

今年の大河ドラマの主役は、明智光秀。芭蕉さんの発句のなかにも光秀を詠んだものがあります。

月さびよ明智が妻の咄しせん

伊勢山田の又玄宅で催された俳諧の席で詠まれました。光秀がまだ貧しく、連歌会を催すことが困難だった時、光秀の妻が髪を売って費用を工面してくれた話をふまえています。「こんな夜は光秀の妻の話をしたいから、月もそれにふさわしく少し光を抑えてくれ」という意味です。貧しい暮らしのなか、精一杯もてなしてくれた又玄夫妻への、感謝と励ましの気持ちが込められた句です。

◆芭蕉祭特別展「芭蕉～四季を旅する～」

12月26日(出)まで

ギャラリートーク 11月15日(日)、12月5日(出)
いずれも午後1時30分～

【問い合わせ】

○文化交流課 ☎ 22-9621 FAX 22-9619

公共交通を利用しましょう



交通系 IC カードのメリット

JR 西日本のICOCA*のような交通系 IC カードは、電車やバスの乗車券として利用できる電子マネーカードで、その多くが先にカードに入金しておくプリペイド型を採用しています。目的地までの切符を買う必要がなく、乗降時に IC 改札機にカードをかざすだけで運賃が自動的に引き落とされるので、スムーズに乗り降りができます。

「新しい生活様式」では、つり銭のやりとりが不要な電子決済での買い物が推奨されています。

交通系 IC カードは対応しているコンビニ、スーパー、飲食店など、郵便局 (9/1 現在で上野・上野緑ヶ丘・伊賀・青山郵便局) での支払いにも利用できます。お出かけに交通系 IC カードを利用してみましょう。

* 2021 年春から関西本線で ICOCA が利用可能に。

詳しくは JR 西日本ホーム

ICOCA エリア拡大 |

検索

ページをご覧ください。

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9694

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・かめやま

甲賀市

観光インフォメーションセンター 「甲賀流リアル忍者館」オープン

「リアル忍者」を知り、学び、映像や体験型展示により甲賀流忍者を体感できる施設「甲賀流リアル忍者館」がオープンしました。

甲賀流忍者に関する古文書などの資料や忍具を展示するほか、プロジェクションマッピングで甲賀流忍者の活躍を紹介するコーナーなどの楽しい仕掛けが盛りだくさんです。



観光案内所や土産物販売店もありますので、甲賀の旅のスタート地点として、ぜひお立ち寄りください。

【開館時間】 午前10時～午後4時

※休館日：月曜日・年末年始

【ところ】 忍の里プラザ甲南情報交流センター内
(滋賀県甲賀市甲南町竜法師 600) ※入館無料
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在は一部使用できない忍者体験があります。

【問い合わせ】 甲賀流リアル忍者館

☎ 0748-70-2790

【問い合わせ】 甲賀市秘書広報課 ☎ 0748-69-2101

亀山市

亀山市歴史博物館第35回企画展 日本書紀編さん1300年「ヤマトタケル—その愛と死—」

日本書紀編さん1300年の節目にあたり、日本書紀に登場する「日本武尊」とその妃「弟橘媛」のゆかり



の地である亀山市では、二人にまつわるストーリーを紹介する企画展を開催しています。

期間中には、3度展示替えも行います。ぜひ、お越しください。

【とき】 12月13日(日)まで

【ところ】 亀山市歴史博物館企画展示室
(亀山市若山町7-30)

【開館時間】 午前9時～午後5時

※毎週火曜日休館 (祝日の場合は翌日)

【企画展示観覧料】 無料

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や手指の消毒などにご協力をお願いします。

【問い合わせ】 亀山市歴史博物館

☎ 0595-83-3000

【問い合わせ】 亀山市広報秘書G ☎ 0595-84-5021